

2008年3月期 決算説明会

2008年5月15日
株式会社 きもと

2008年3月期 【 決算概要 】

代表取締役社長 丸山 良克

2008年3月期 トピックス

1. 自己株式30万株取得(7月9日～9月14日)

株主還元の充実を図るとともに、資本効率の向上に資するため

2. 中国現地法人「稀本商貿(上海)有限公司」

2007年8月設立

2008年1月 営業スタート

3. ポーランド現地法人「KIMOTO POLAND Sp.z o.o.」

2007年12月工場完成

2008年3月稼働開始

4. 茨城工場 本棟完成(2008年1月)

5. 三重工場 コーティング設備の増設を決議

2008年9月着工予定

2009年6月完成予定

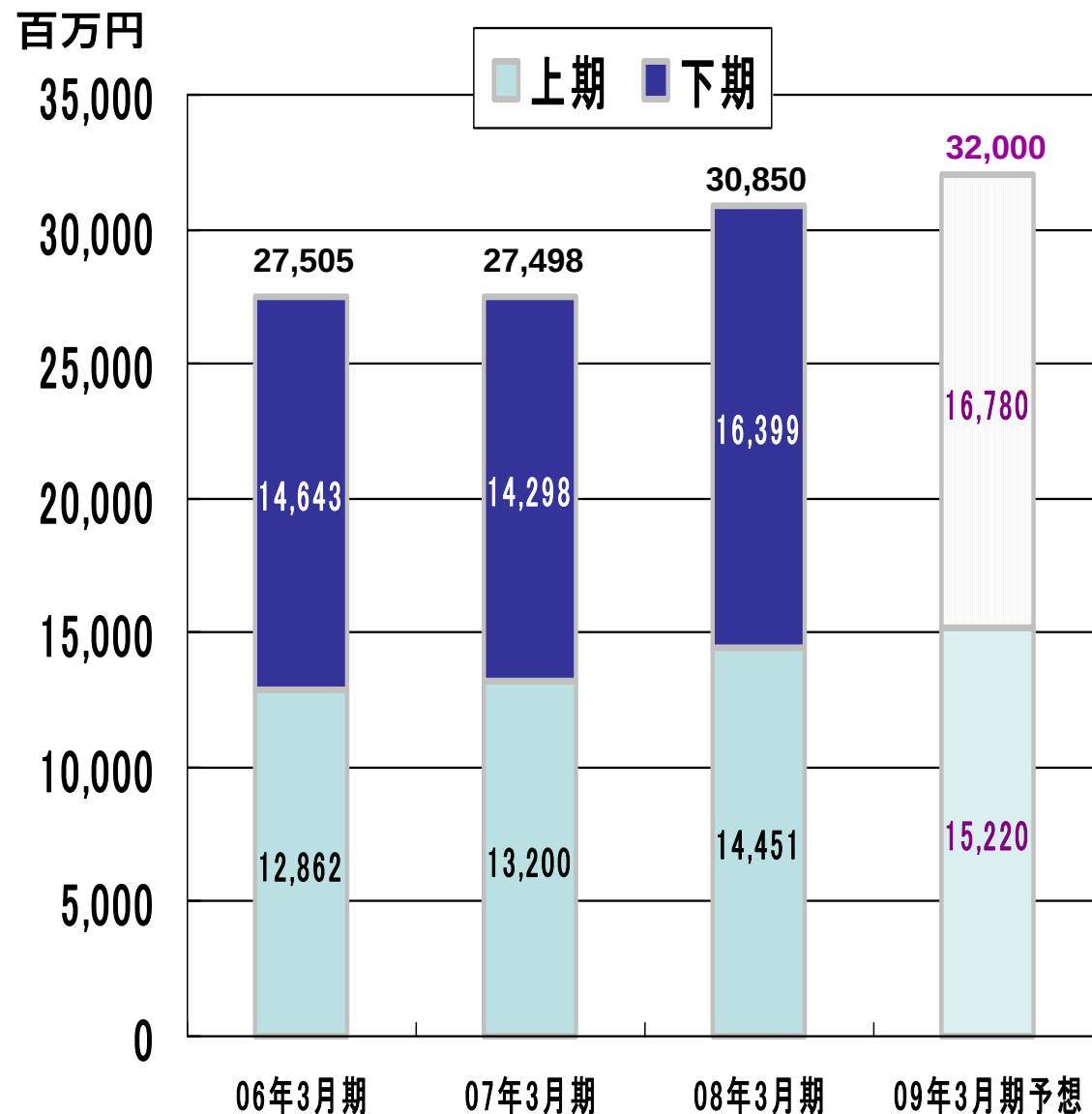
連結 業績サマリー

(単位: 百万円)

	当期 2008年3月期	前期 2007年3月期	増減	
売上高	30,850	27,498	3,352	12.2%
営業利益	3,009	2,346	663	28.3%
経常利益	2,986	2,491	495	19.9%
当期純利益	1,646	1,567	79	5.1%

- デジタル家電向け光学フィルムが大幅に伸長
- ハードコートフィルムの出荷量が大幅に増加
- 情報システム事業部門の損失を圧縮

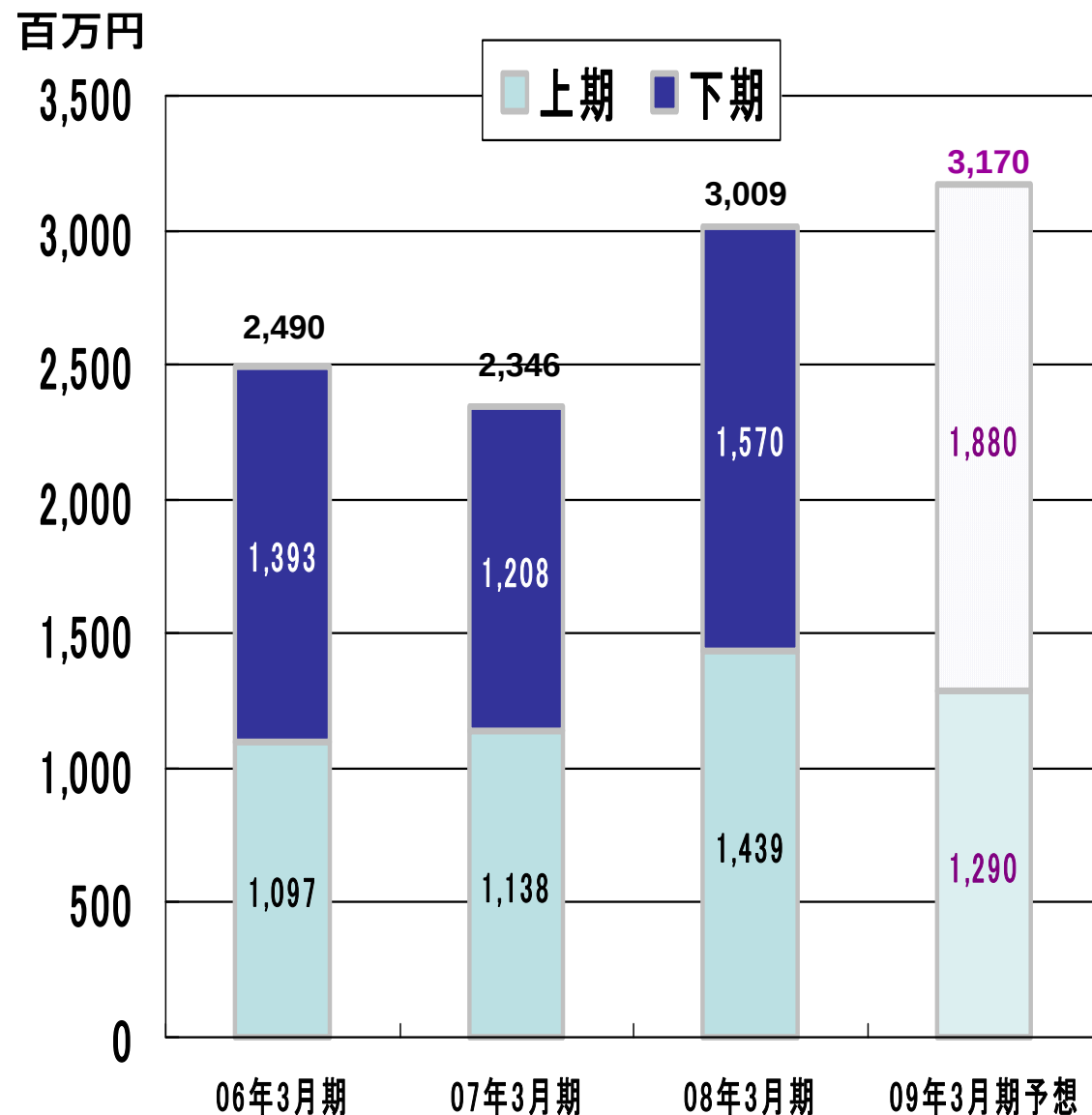
連結 売上高推移



業績比較

- 当期
30,850百万円
- 前年同期比
3,352百万円増(12.2%)
- 2009年3月期予想
32,000百万円
- 前年同期比
1,150百万円増(3.7%)

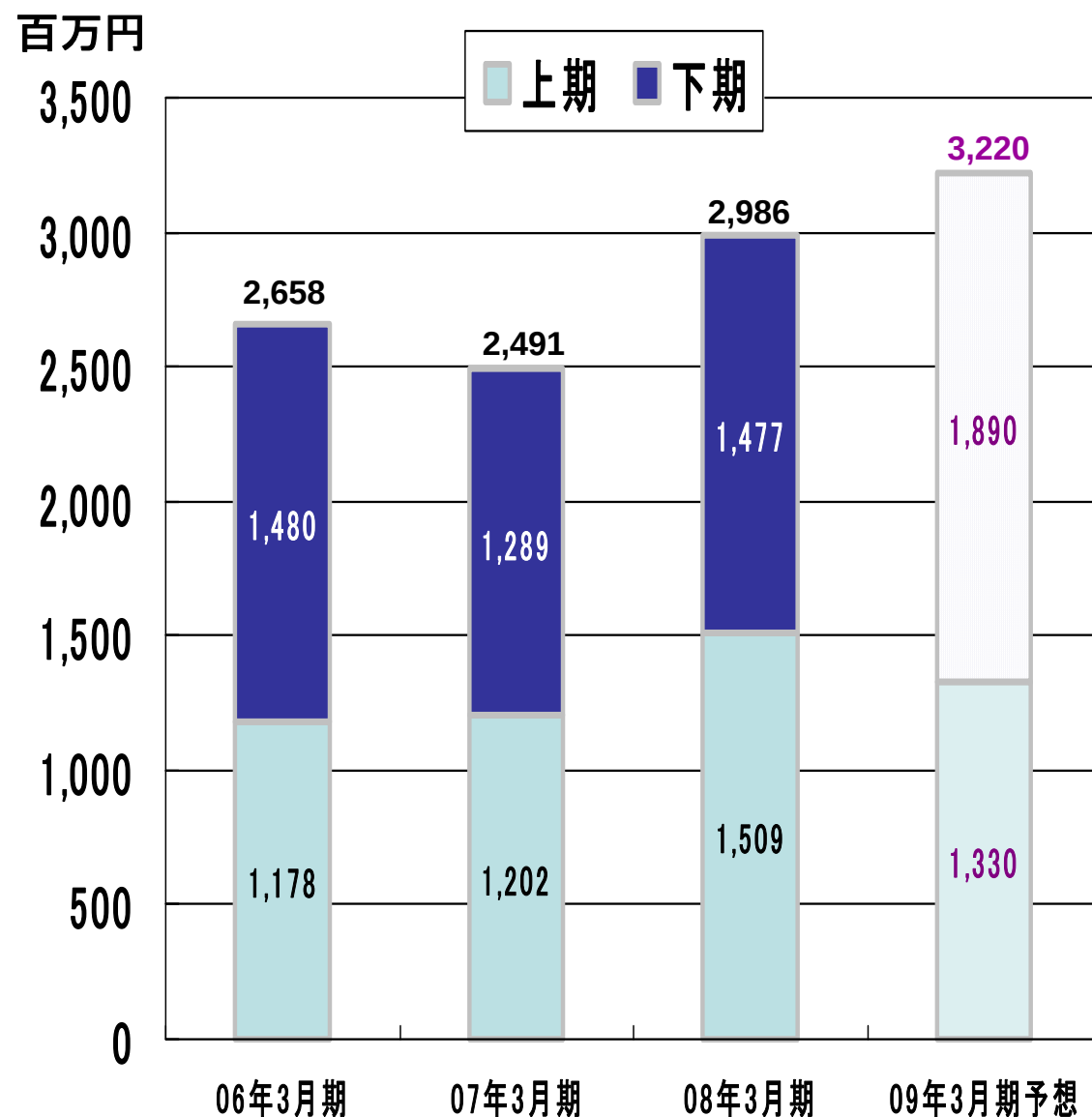
連結 営業利益推移



業績比較

- 当期
3,009百万円
- 前年同期比
663百万円増(28.3%)
- 2009年3月期予想
3,170百万円
- 前年同期比
161百万円増(5.3%)

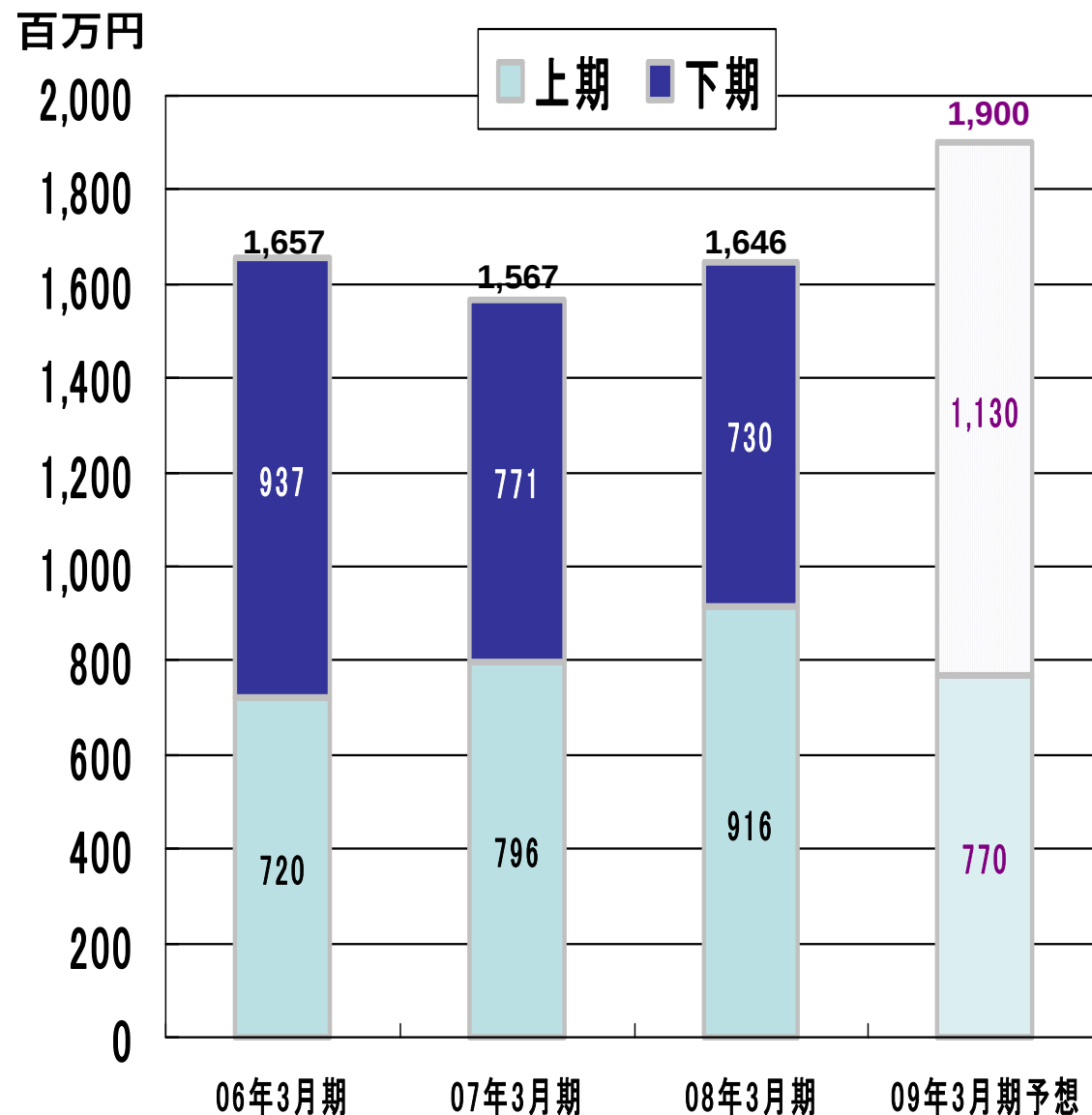
連結 経常利益推移



業績比較

- 当期
2,986百万円
- 前年同期比
495百万円増(19.9%)
- 2009年3月期予想
3,220百万円
- 前年同期比
234百万円増(7.8%)

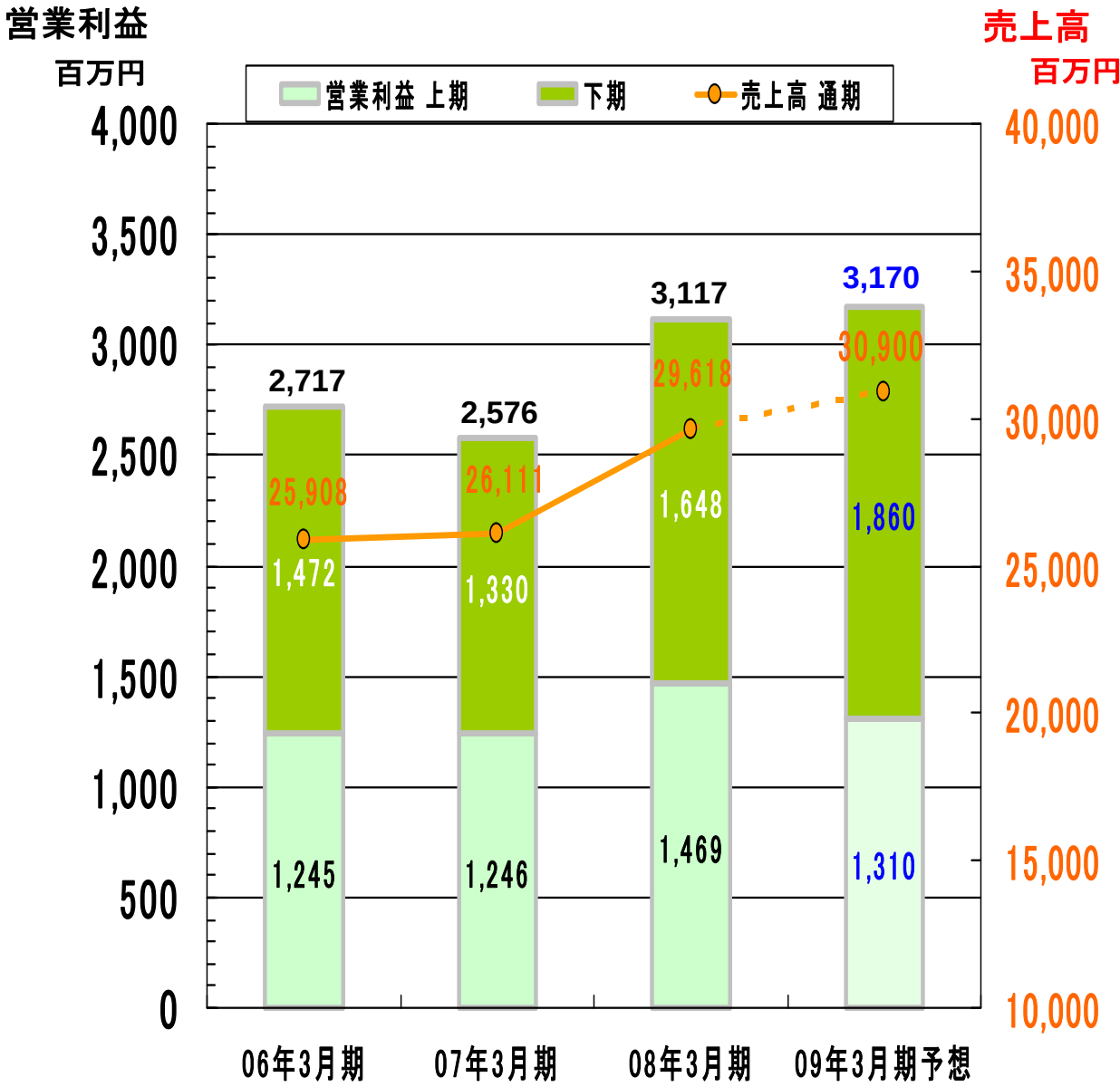
連結 当期純利益推移



業績比較

- 当期
1,646百万円
- 前年同期比
79百万円増(5.1%)
- 2009年3月期予想
1,900百万円
- 前年同期比
254百万円増(15.4%)

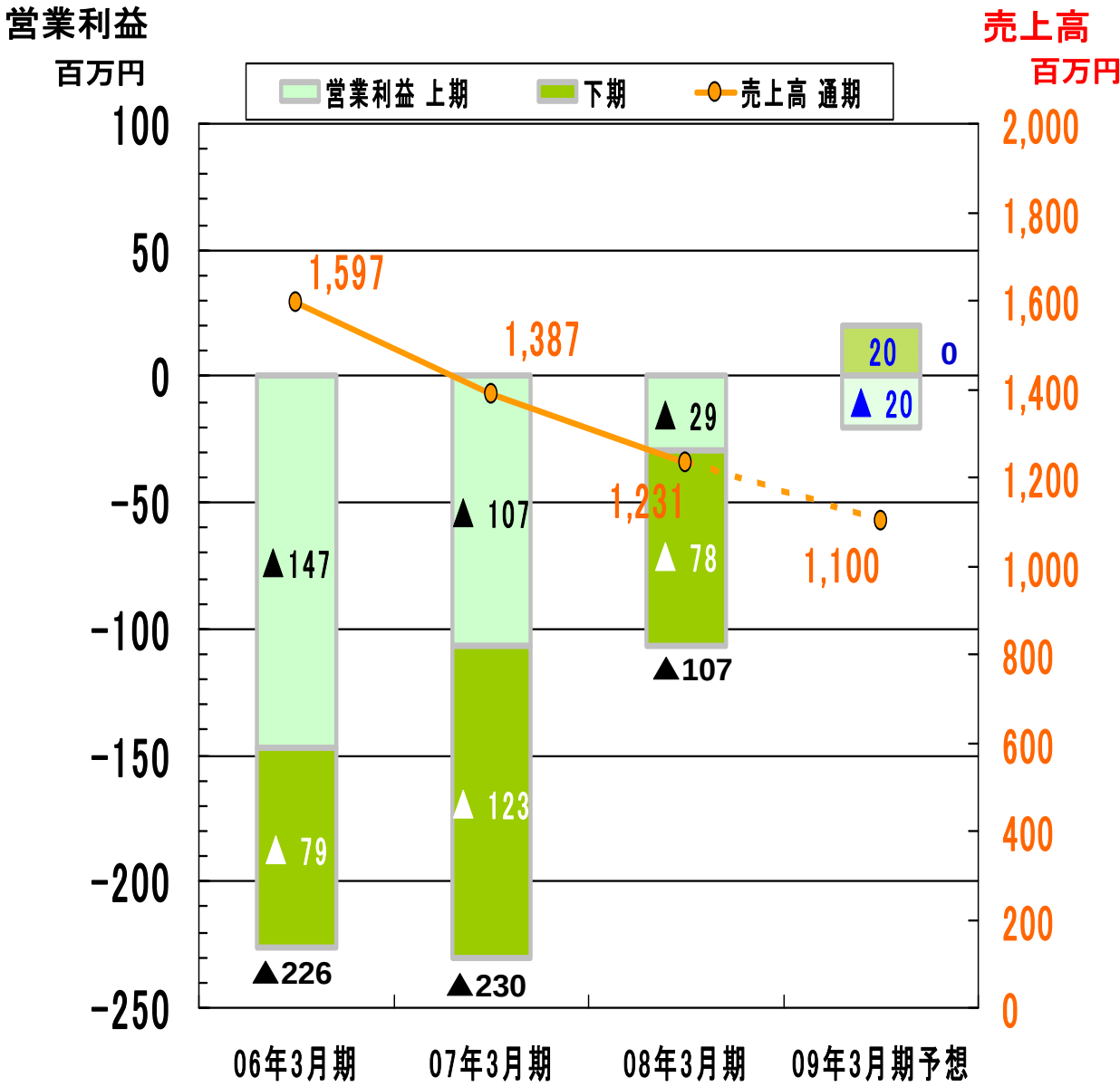
連結 機能性フィルム事業部門 売上高営業利益推移



業績比較

- 当期営業利益
3,117百万円
- 前年同期比
541百万円増(21.0%)
- デジタル家電向け光学フィルム、タッチパネル用ハードコートフィルムが大幅に増加
- カラーマネジメントシステムおよび測色機器類の売上が減少。大型インクジェットプリンターの売上は伸長
- 環境エコロジー分野の多機能フィルムを上市するも売上寄与には至らず。出力フィルムの売上は大幅に減少

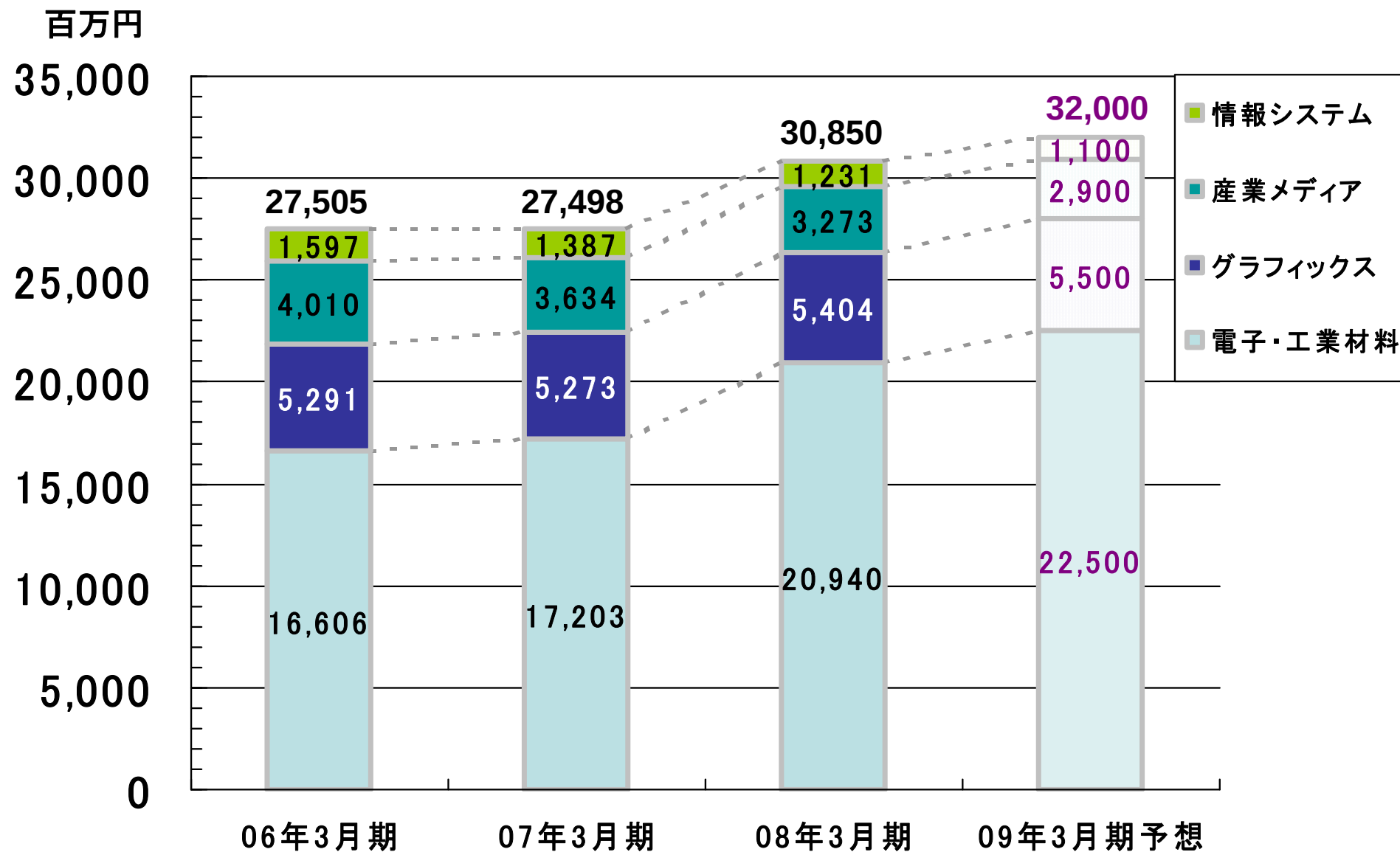
連結 情報システム事業部門 売上高営業利益推移



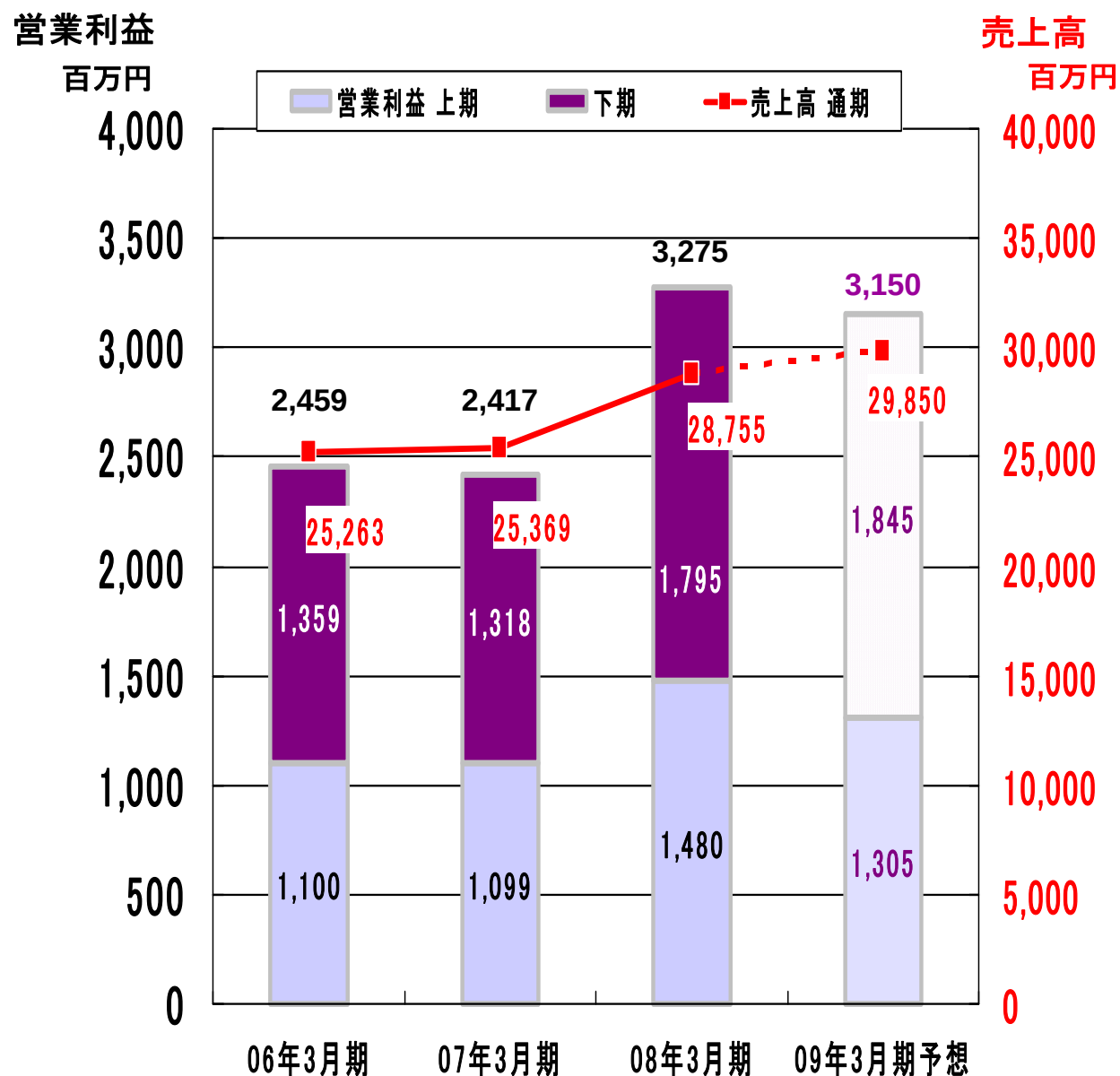
業績比較

- 当期営業損失
107百万円
- 前年同期比
123百万円減
- 得意分野への経営資源の集中と事業のスリム化に取り組み、売上は大幅に減少したものの収益構造の改善が進み損失を圧縮

連結 事業別 売上高推移



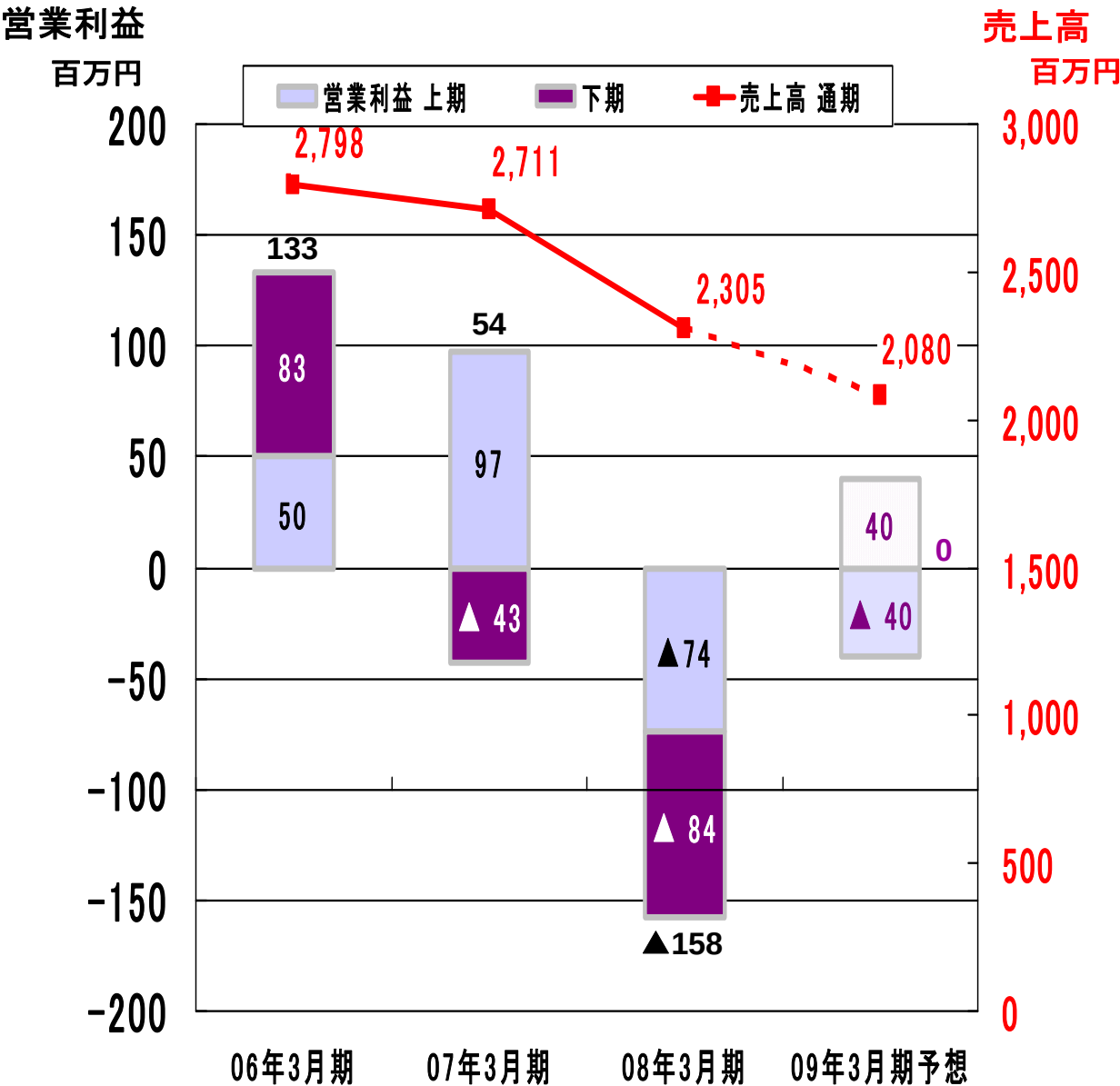
連結 所在地別(日本) 売上高営業利益推移



業績比較

- 当期営業利益
3,275百万円
- 前年同期比
858百万円増(35.5%)
- 当期売上高
28,755百万円
- 前年同期比
3,385百万円増(13.3%)

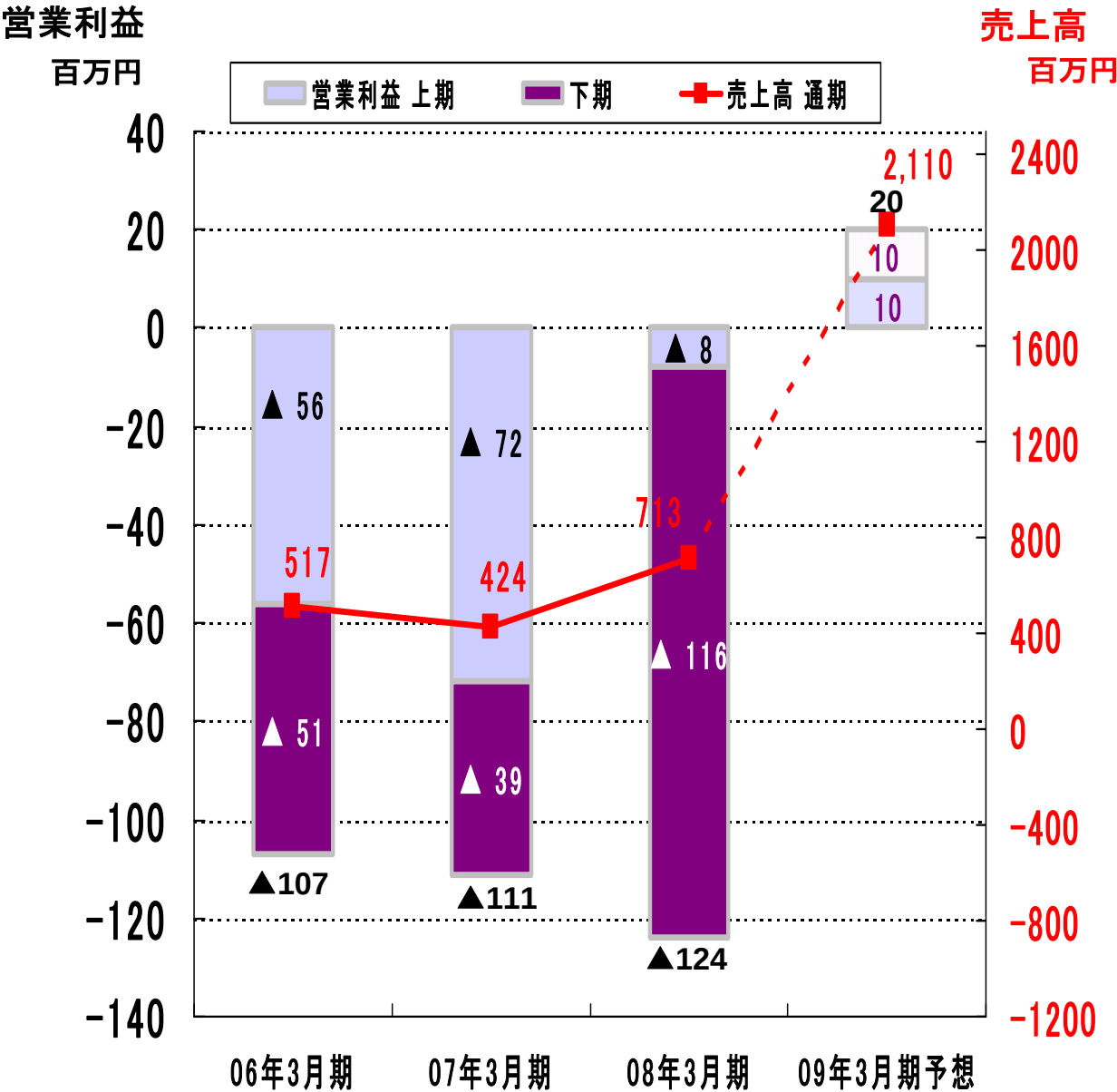
連結 所在地別(北米) 売上高営業利益推移



業績比較

- 当期営業利益
▲ 158百万円
- 前年同期比
212百万円減
- 当期売上高
2,305百万円
- 前年同期比
406百万円減

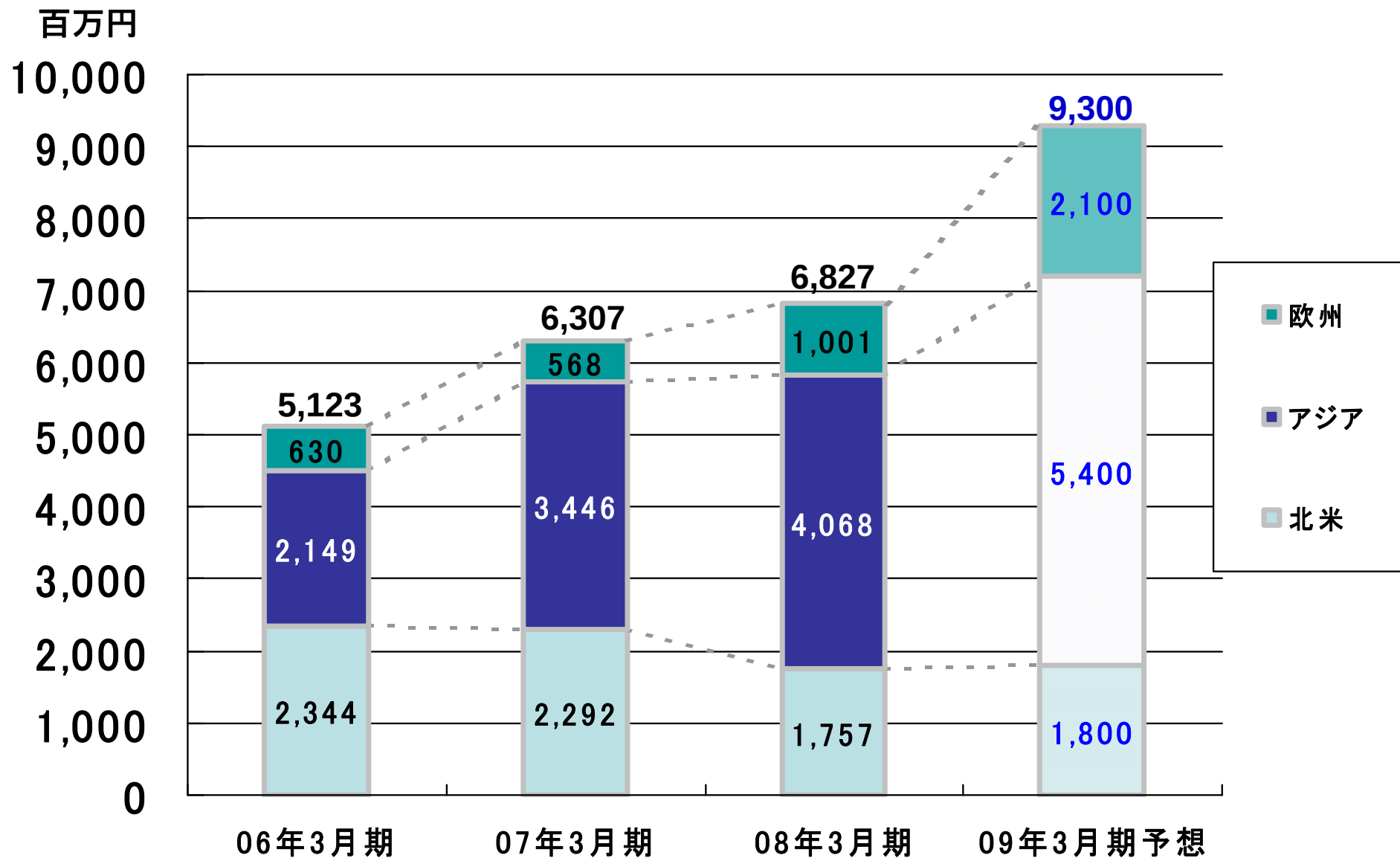
連結 所在地別(欧州) 売上高営業利益推移



業績比較

- 当期営業損失
124百万円
- 前年同期比
13百万円増
- 当期売上高
713百万円
- 前年同期比
288百万円増(68.1%)

連結 海外売上高推移

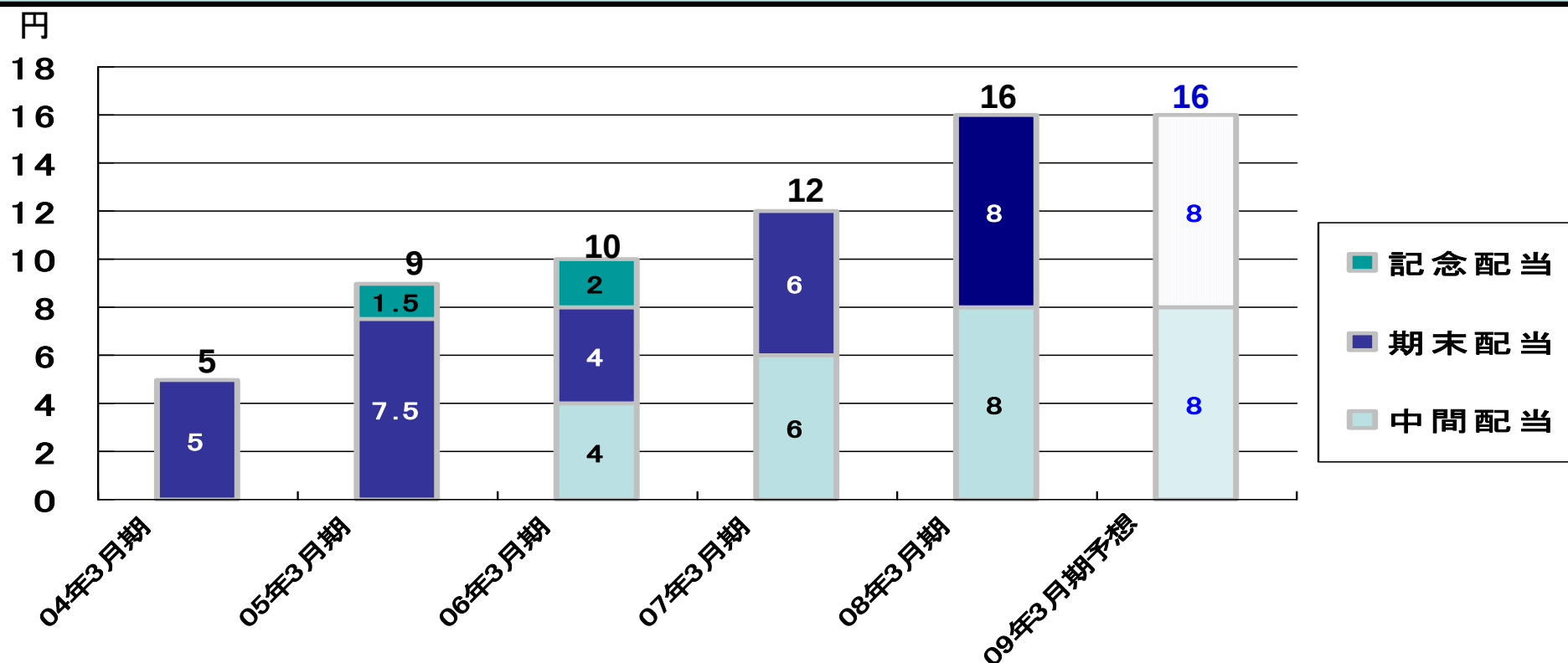


株主還元

下期配当: 1株につき8円(前年同期比2円増配)

●通期配当予想16円(前年同期比4円増配)

●通期連結配当性向予想26.3%(前年実績20.9%)



※07年3月期中間以前の配当金は株式分割後、調整済みの数値を記載しています。

株主還元

自己株式の取得結果

- 取得株式数 30万株
(発行済株式総数に対する割合1.10%)
- 取得総額 192,586,400円
- 取得期間 07年7月9日～07年9月14日
- 取得方法 東京証券取引所における市場買付

連結 通期見通し

(単位:百万円)

	2009年 3月期予想	2008年 3月期実績	増減	
売上高	32,000	30,850	1,150	3.7%
営業利益	3,170	3,009	161	5.3%
経常利益	3,220	2,986	234	7.8%
当期純利益	1,900	1,646	254	15.4%

連結 事業別売上高 通期見通し

(単位:百万円)

	2009年 3月期予想	2008年 3月期実績	増減	
電子・工業材料	22,500	20,940	1,560	7.4%
グラフィックス	5,500	5,404	96	1.7%
産業メディア	2,900	3,273	▲373	▲11.3%
情報システム	1,100	1,231	▲131	▲10.6%

当社株券等の大量買付行為に関する 対応方針(買収防衛策)について

2008年5月15日

【導入の目的】

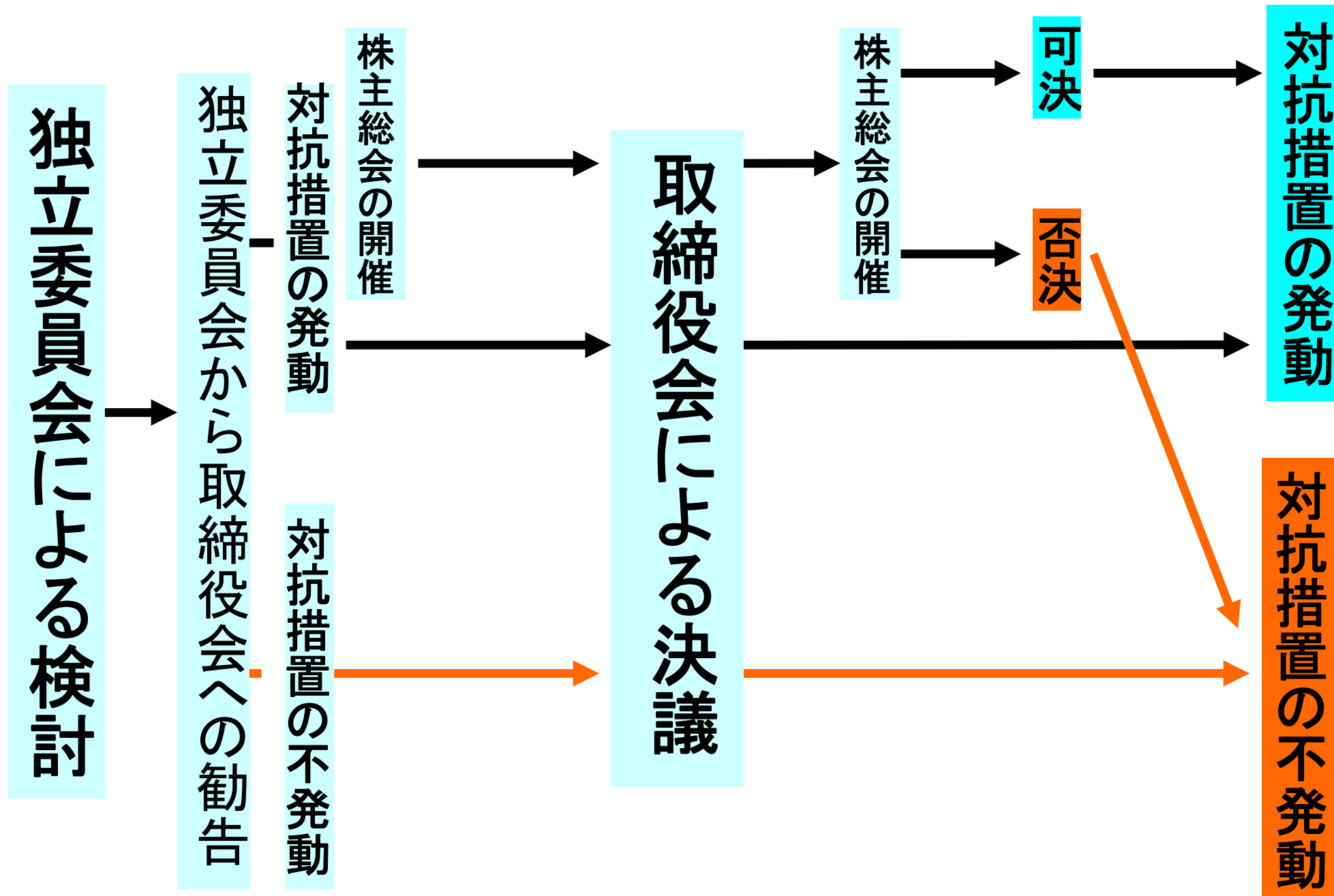
本対応方針（買収防衛策）は、企業価値または株主共同の利益を毀損するものに対する対応策として導入するものであります。

当社の企業価値とは

- ① 独創的な技術開発力
- ② 先進的な製造技術と一貫した品質保証体制
- ③ 「プロ集団」たる従業員の存在
- ④ 顧客・取引先との切磋琢磨する関係

本対応方針の運用手順

大量買付ルールを遵守する場合



本対応方針の運用手順

大量買付ルールを遵守しない場合

発動を取締役会へ勧告
独立委員会が対抗措置の

取締役会による決議

対抗措置の発動

2009年3月期 営業計画

常務取締役 営業本部長
武田 詔一

主要戦略

「ビジネスパラダイムの転換」
を推進し、新しいビジネスを創出する

2009年3月期事業部門別売上予想

単位:百万円

	2008年 3月実績	2009年 3月予想	前期比
機能性フィルム事業部門	29,618	30,900	104.3%
電子・工業材料	20,940	22,500	107.4%
グラフィックス	5,404	5,500	101.7%
産業メディア	3,273	2,900	88.6%
情報システム事業部門	1,231	1,100	89.3%
合 計	30,850	32,000	103.7%

機能性フィルム事業部門

トピックス

- 海外拠点の活用で海外売上げ比率UP
 - 稀本商貿(上海)有限公司、KIMOTO POLAND Sp.z o.o.
- 国際部の強化
 - 国内営業との連携により、海外子会社への営業支援強化
- 販売推進・商品企画の充実
 - 魅力あるPB(プライベートブランド)商品の創出
- 営業拠点のスリム化
 - 広島支店、沖縄営業所の閉鎖(9月予定)

電子・工業材料事業

売上予想 225億円

■ 液晶用フィルム

- 中小型向けの販売強化
- 高輝度拡散フィルムの早期上市

■ ハードコートフィルム

- 透明タッチパネル用途の拡大で売上130%を見込む
スマートフォン、PND、携帯電話、アミューズメント、カーナビ
- 安定供給に注力
- 製品ラインナップの拡充

電子・工業材料事業

- 上海現地法人「稀本商貿(上海)有限公司」の
立ち上げで中国市場へ拡販
 - デジタルカメラ用光学フィルム、ハードコートフィルム、
プリント基板用フィルム
- KIMOTO POLAND Sp.z o.o.
 - 安定稼働に注力
 - 欧州市場の液晶テレビ向け部材の増産

グラフィックス事業

売上予想 55億円

- 次世代ダイレクト刷版システムの上市
 - DRUPA2008(デュッセルドルフ)で発表
- カラーマネジメントの提案を直販体制の強化で推進
- きもとユーザー会の開催
 - 第1回を7月中旬開催予定(内覧会、セミナー)

産業メディア事業

売上予想 29億円

- 映像製品の拡販
 - グラフィックスユーザーおよび企画デザイン会社に映像POPの提案(ディラッドバナー等)
- 環境製品のラインナップ強化
 - 光触媒製品・窓貼りフィルムを中心にマーケティングの推進で次期製品開発に注力

情報システム事業部門

売上予想 11億円

- 黒字化の達成

- 更なる業務改善により原価低減の推進

- 重点ビジネスの絞込み

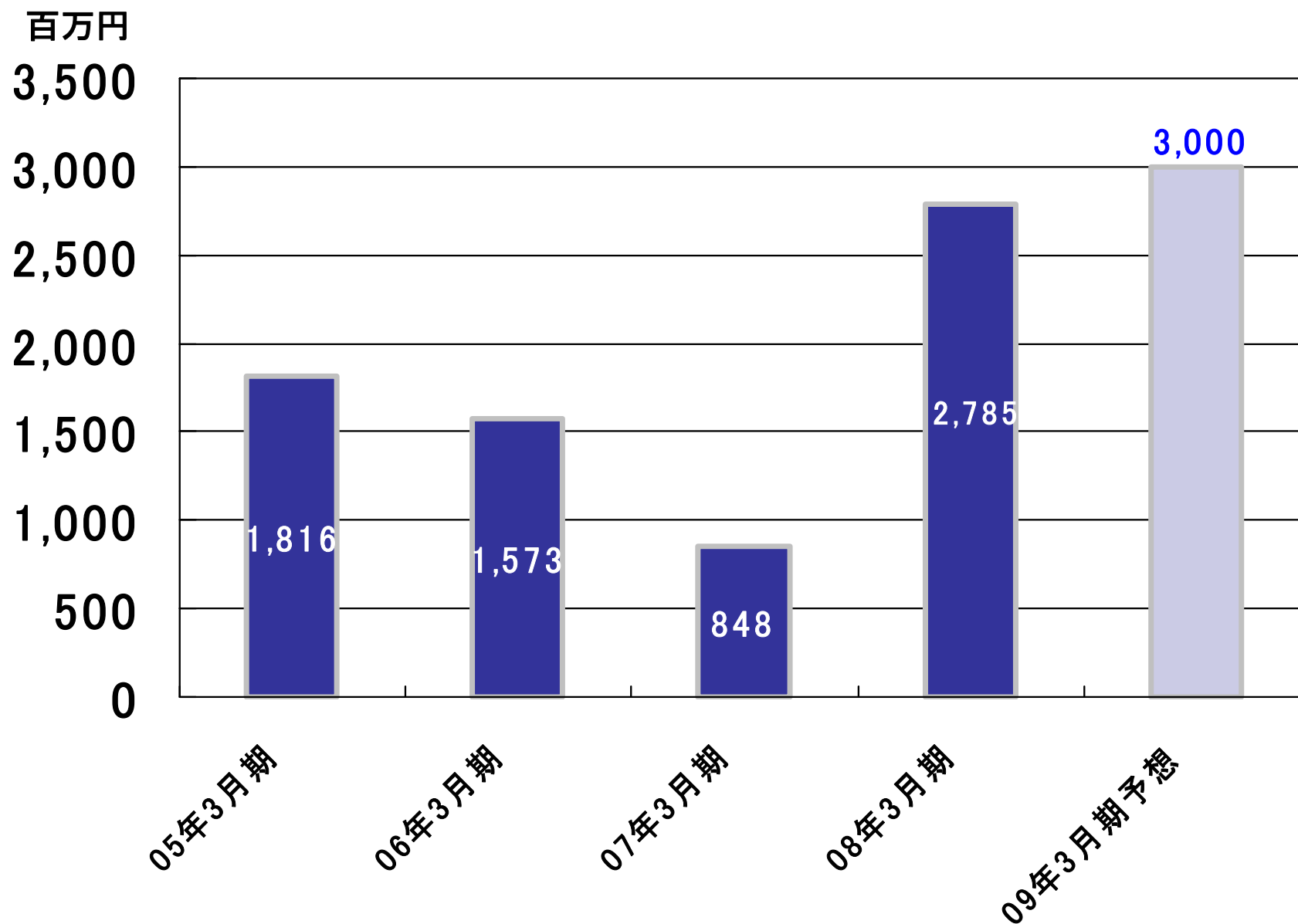
- 国交省と法務省のデジタル化業務、光通信業務

- 新規ビジネスの立上げ（脱従来型ビジネス）

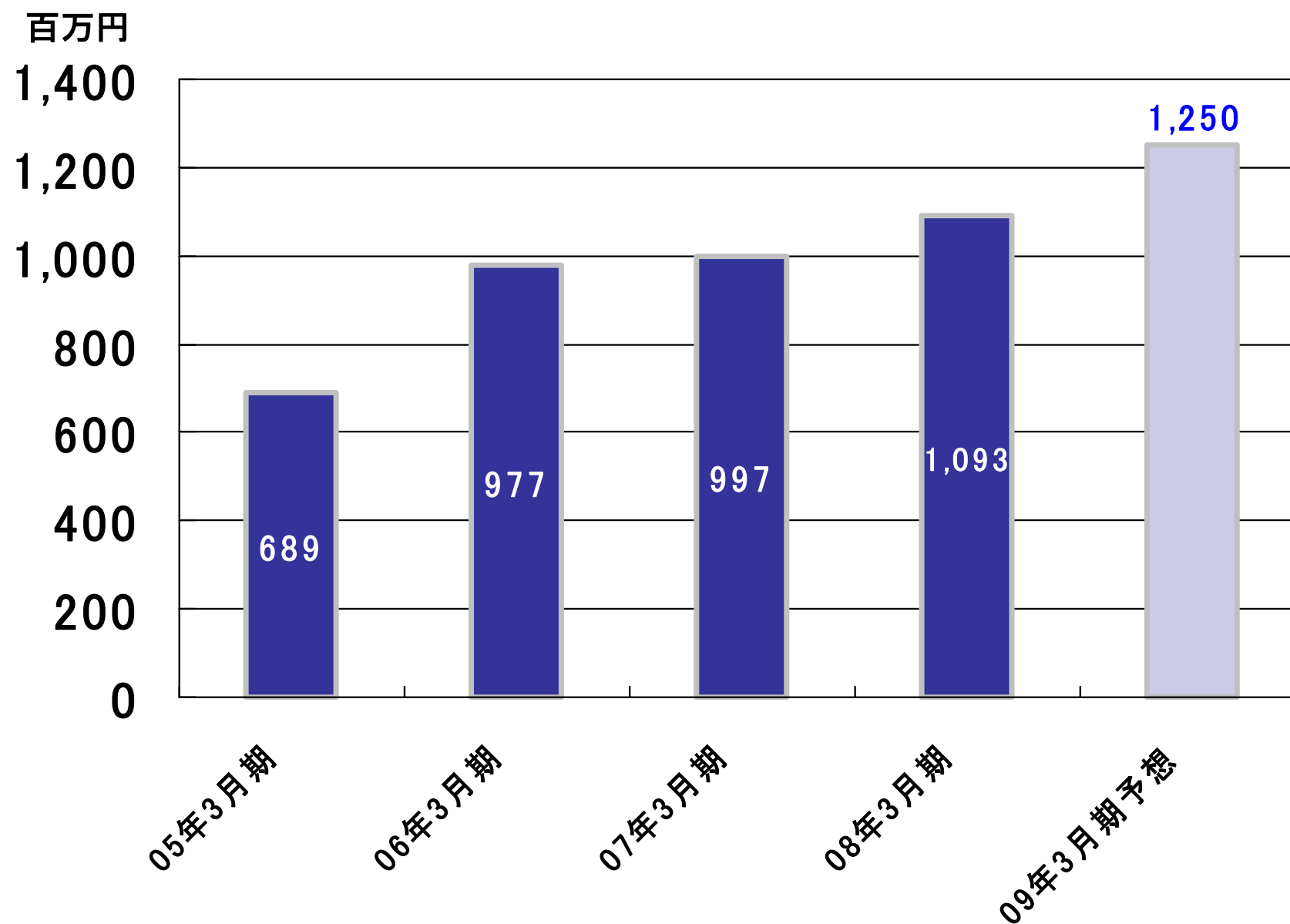
- ASP(アプリケーション・サービス・プロバイダ)、ファイリング、4D模型

参考データ

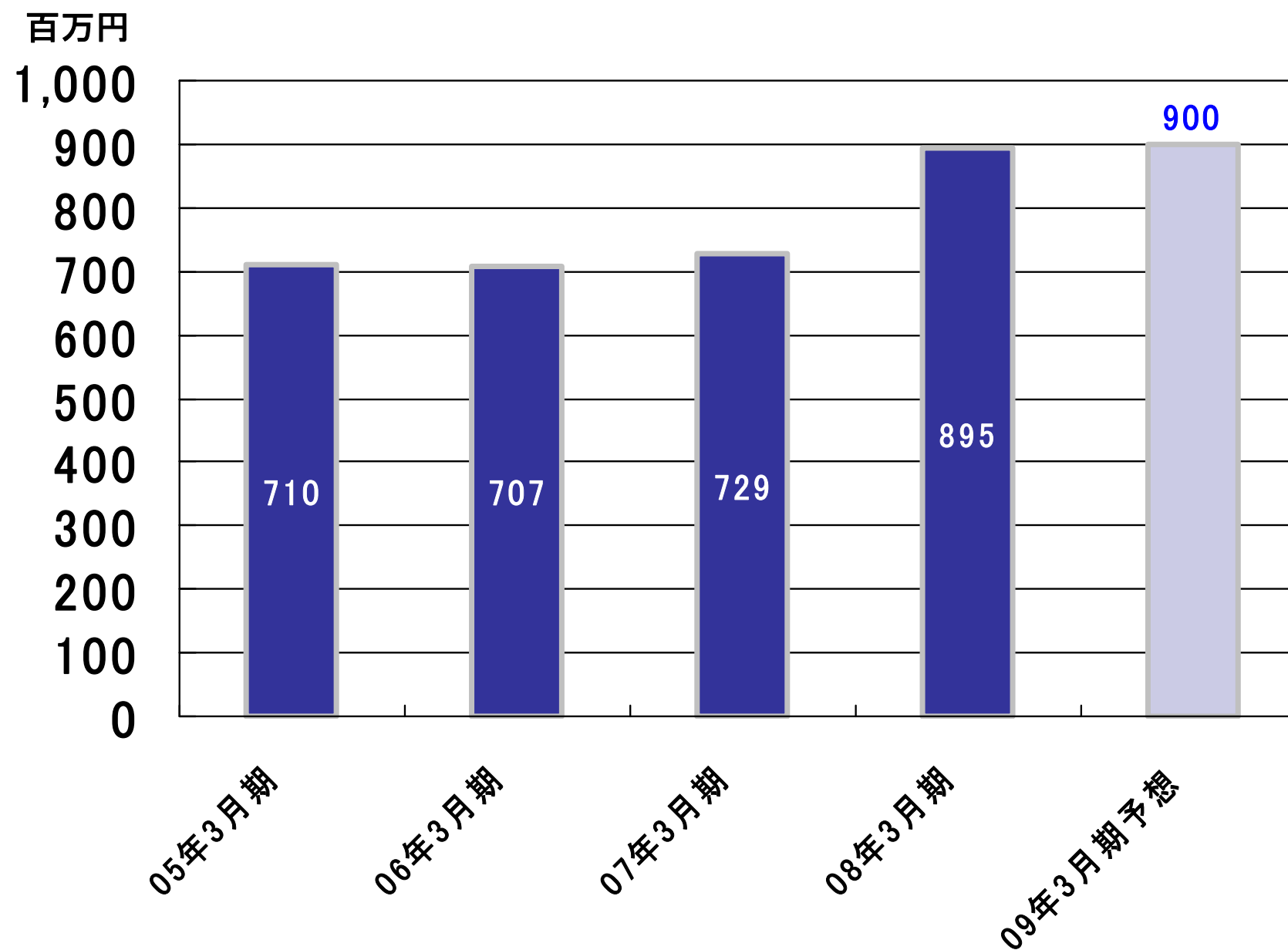
連結 設備投資額



連結 減価償却費



連結 研究開発費



【業績予想等に関する注意事項】

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在の将来に関する計画・見通しに基づく予測であります。多様な不確定要因により実際の業績が記載の予想値と大幅に異なる可能性があります。